まちづくり
NEWS LETTER VOL.25

公益財団法人　大阪府都市整備推進センター　2021.09

まちづくり活動支援

令和3年度 まちづくり初動期活動サポート助成団体が決定しました！

地域住民が主体となったまちづくり活動を支援し、快適で魅力ある市街地の形成に寄与する目的で行っている「令和３年度まちづくり初動期活動サポート助成」について応募を受け付け、「まちづくりサポート助成審査委員会」において審査が行われました。

今回より各申請団体によるプレゼンテーション、及び審査委員との質疑応答が行われました。まちづくりへの熱意の下、必要性・公益性・実現性・将来性などを総合的に審査した結果、下記のまちづくり活動への助成が決まりました。

審査会の様子

● はじめの一歩助成部門

	助成団体名	活動地域	助成活動の概要
1	修斉地区市民協議会	岸和田市土生滝町、北阪町、阿間河滝町、真上町、八田町、葛城町、神須屋町	地区の魅力や資源を再発見・再認識し、まちの将来像を考えワークショップの開催や広報活動を行う
2	枚方市長尾地域 まちづくり推進協議会	枚方市長尾東町、長尾播磨谷、長尾荒阪、長尾元町	計画的なまちづくりの検討を進め、地域の将来的な展望の実現をめざし勉強会等を行う

● 初動期活動助成部門

	助成団体名	活動地域	助成活動の概要
3	高田地区美しいまちを考える会	枚方市高田1丁目、2丁目	土地区画整理事業によるまちづくりの実現をめざし事業協力者の選定を行う
4	恵我之荘まちづくり協議会	羽曳野市南恵我之荘 ・恵我之荘	道路、駅周辺整備に合わせて地域住民が望む安全安心、快適で賑わいのあるまちづくりをめざし地域啓発等を行う
5	京街道広域連携型 まちづくり協議会	大阪府天満・八軒家浜～ 京都七条～滋賀県大津	京街道沿いの音楽活動等のネットワークを活用し、防災の啓発連携等を行う
6	淀川沿川・三川合流域協議会	大阪府島本町、 京都府八幡市、大山崎町	スタンプラリーやフォトコンテスト等を開催するなど観光連携による持続可能なまちづくりを推進する
7	淀川沿川・中流域協議会	高槻市、枚方市、寝屋川市、守口市、摂津市	収益循環・エコツーリズム創出・減災を基に魅力的なまちづくりをめざして勉強会や情報発信等を行う

※２次募集受付分の助成団体は、１０月中旬に決まる予定です。

お問い合わせ先：まちづくり支援室　TEL:06-6262-7713

「新安治川水門アイデアコンペ・絵画コンクール」の開催

現在の安治川水門

西大阪地域の高潮対策の根幹施設である安治川水門は地域のシンボルとして親しまれてきましたが、老朽化により新たな水門を建設する必要が生じています。

新水門には後世にも継承される優れたデザインを有し、地域の方々の安全・安心のシンボルとなることが期待されていることから、水門の更新を契機として、当センターも参画する実行委員会により、「新安治川水門と周辺地域及び河川軸」のアイデアを募集するアイデアコンペと小学生を対象とした絵画コンクールが開催されています。（※絵画コンクールは12月17日まで応募できます）

結果はアイデアコンペについては11月中旬頃、絵画コンクールについては1月中旬頃に公式ウェブサイト（https://www.ajigawasuimon-compe.info/）において発表予定です。

お問い合わせ先：まちづくり支援室　TEL:06-6262-7713

千里ニュータウンにおける近隣センターの活性化の取組み

千里ニュータウンには13の近隣センターが設置され、住区の身近な拠点として住民の暮らしを支えてきましたが、まちびらきから50年以上が経過し、施設の老朽化や空き店舗の発生等により都市機能の低下がみられます。

これまで、藤白台、高野台サブの再整備や新千里東町、竹見台・桃山台（検討中）の再開発について取り組まれてきましたが、残る8近隣センターについては、再整備等の見通しは立っていない状況となっています。

このような現状を鑑み、当センターや地元市など関係6者で構成する千里ニュータウン再生連絡協議会で策定した「千里ニュータウン再生指針2018」では、ニュータウン再生のための16の取組みの1つに「近隣センターの活性化」を掲げ、検討を進めているところです。

具体的な取り組みとして、令和3年度から大阪大学工学研究科の木多研究室と連携し、再開発だけではなく既存施設の活用等、時代に相応しい今の地域の暮らしや活動を支える拠点としての活性化の方法について共同研究に取り組んでいます。また、当センターが管理しているオープンスペース等を活用し、地元商店会はにぎわいづくりという観点から「キッチンカー」「マルシェ」等の導入を図り、周辺地域の住民が近隣センターに足を運ぶきっかけになり、より一層の交流を深めることができるような取り組みも進めています。

豊中市・新千里南町近隣センター　（マルシェ・キッチンカー出店）

お問い合わせ先：千里事業部
TEL:06-6871－5817

寝屋二丁目・寝屋川公園地区まちづくり協議会設立！

対象区域はJR 学研都市線星田駅や第二京阪道路に近接し、面積は約30ha あります。

平成23年5月に設立いたしました寝屋二丁目地区の将来を考える会において、計画的なまちづくりに関する様々な検討が進められてきました。

その間、隣接する交野市や枚方市域では事業化が図られるなど、府営寝屋川公園も含めて様々な場面で取り巻く社会環境が大きく変化してきました。

地域をより一体的に魅力あるものとするため、寝屋川公園エリアも含めてより具体的なまちづくりの検討を進めるべく、本年7月10日、まちづくり協議会が設立されました。

今後は、寝屋二丁目・寝屋川公園地区の一体的な取組が進められることで、寝屋川公園のロケーションを活かした相乗効果が得られるような活気溢れるまちづくりが期待されます。

さらに民間企業のノウハウも取り入れて、事業化に向けて着実に、その歩みを進めていけるよう心より祈念申し上げます。

まちづくり協議会設立総会の様子

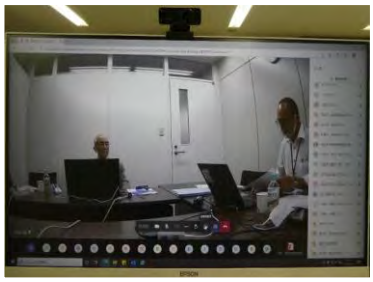
お問い合わせ先：都市整備事業課
TEL:06-6262－7712

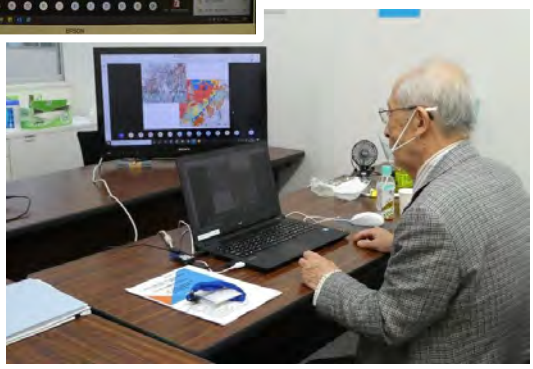
市町村職員のスキルアップを目指した技術研修を開催しています！

今年度の市町村職員技術研修は、新型コロナ感染症拡大による緊急事態宣言の中ですが、大阪府の「感染拡大予防にかかる標準的対策」を徹底した上で実施しています。

【令和3年度　研修の概要】

	開催日	研修会名	研修内容	会場
1	5月24日（月）	土砂災害防止の入門講座	① 土砂災害とその対策　【オンライン】 ② 大阪の地質と土砂防災	都市整備推進Ｃ
2	7月　1日（木）	災害対応及び災害査定研修	① 防災気象情報 ② 地震、津波災害から身を守る ③ 災害復旧事業の実務	大阪産業創造館
3	7月　7日（水）	公共測量の基礎知識	① 公共測量におけるDNSS及び基準点測量の実際 ② 公共測量成果品の品質確保	大阪産業創造館
4	8月　3日（火）	地盤調査の基礎講座	① 地盤調査の基礎知識、 ② 土質調査方法 ③ 直接基礎杭基礎の支持力計算演習	大阪産業創造館
5	8月23日（月）	公園街路の樹木維持管理＆土木施工管理	① 都市にとって樹木 ② 公園、街路の樹木維持管理 ③ 樹木診断と処置 ④ 土木施工管理	大阪産業創造館
6	9月 7日（火）	土木積算	① 土木積算 ② 工事工程表の作成 ③ 積算演習	大阪産業創造館
7	10月21日（木）	舗装の入門講座	① アスファルト舗装の構造設計②舗装の施工管理 ② 舗装の維持管理	大阪産業創造館
8	9月15日 10月13日 11月10日 全て（水）	ドローン活用研修（ドローンの基礎と操作）	① ドローンの概要 ② ドローン操作と撮影	大阪産業創造館 貝塚ドローンＦ





オンライン講義の様子

確認問題回答中の様子（第5回　8/23）

積算演習中の様子（第6回　9/7）

お問い合わせ先：市町村技術支援課
TEL:06-6262-7670

市町村道路施設点検等支援事業

府内24市町村の約700橋の定期点検を一括発注しています！

当センターでは、これまでに府内35市町村と基本協定を締結し、市町村が管理する橋梁など道路施設の定期点検業務を一括発注方式で実施しています。各市町村の点検業務を一括してコンサルタントに発注し、市町村監督員との調整、業務全体の管理、統一した視点での診断と結果のとりまとめや点検データの一元管理を行うなど、継続的で効率的な施設点検の実施を支援しています。

令和3年度は、府内24市町村から約700橋の橋梁とトンネル及び付属物の点検業務の依頼を受け、現在、現地踏査が概ね終了し、これから本格的点検業務に着手してまいります。

「橋梁長寿命化修繕計画」の策定については、平成30年度から支援業務を行っており、今年度も下半期の実施に向けて、関係機関と調整を進めているところです。

また、試行的に発注者支援として、今年度市町村が発注する橋梁補修工事の積算技術支援業務を実施しました。今年度の実施状況を検証して今後の本格的実施の参考としてまいります。

さらに、協定協定を締結した35市町村の職員を対象とした「橋梁点検研修（第1段階）」を8月30日に大阪産業創造館で開催しました。引き続き第3段階までの開催を予定しています。

お問い合わせ先：市町村技術支援課
TEL:06-6262-7670

密集市街地まちづくり活動支援

令和３年４月から密集市街地サポート助成を強化しています！

地震時等に著しく危険な密集市街地の早期解消に向けて、大阪府密集市街地整備方針が改定（令和3年3月）されたことを受け、当センターでは、**令和7年度まで**文化住宅等所有者や地域住民等のまちづくり活動のための支援をさらに強化し取り組んでいます。

これまでの『建替え等相談支援』・『建替え検討支援』等や『密集市街地まちづくり活動支援（まちづくり活動支援・感震ブレーカー設置支援）に加え、以下の支援を**拡充・新設しております。**

今年4月から拡充・新設している支援メニュー

（堺市・豊中市・守口市・寝屋川市・門真市・東大阪市及び大阪市の各指定地区を対象）

◆ **文化住宅等売却支援（支援内容拡充）**

文化住宅等の売却時の必要な費用に助成し、売却を引続き支援します。今までの一般文化住宅等への助成に加え、特定建築物（除却すれば延焼抑止の効果が大きい建物）に該当する場合は助成金を増額します。

◆ **空き地コモンズ整備支援（支援内容拡充）**

今までの広場・緑地のみならず、広く地域コモンズ（地域住民のための共用スペース）として利用する土地の整備費や管理費に助成します。併せて、そこに隣接する建物を地域コモンズとして利用するための改修費にも助成します。

◆ **隣地統合支援（新規支援）**

土地の有効利用促進のため、利用困難な未接道や狭小等の隣地を取得し、現所有地と一体的に利用される場合は、その取得に必要な費用の一部を助成します。

※ 支援メニューの詳細な内容につきましては、当センターのホームページでご確認ください。
https://www.toshiseibi.org/urban_development/

ご好評の密集市街地サポート助成の活用事例を紹介します。ぜひご活用ください！

■建替え検討支援の事例（文化住宅等をお持ちの方へ建替え案を無償で提案）

守口市の東部地区において、当センターが平成30年度に建替え検討支援（当センター賛助会員から建替え案を提案）を行った文化住宅の建替えが行われ、新しいサービス付高齢者向け住宅に生まれ変わりました。

【建替え前】

文化住宅２棟（全16戸）

R元年　7月：従前建物の除却開始
R2年　3月：着工
R2年11月：竣工
R2年12月～入居開始

【建替え後】

サービス付高齢者向け住宅１棟
（木造・3階建・30室）

建替えられた所有者様のご感想

老朽化した文化住宅の建替えを模索していた中、センターのことを知り、相談に乗っていただきました。
センターの賛助会員のハウスメーカーから具体的な収支計画案、一括借上げ利用の事業内容等をわかりやすく丁寧に説明され、話し合いにもセンターの担当者が必ず同席しサポートしていただき、心強く検討を進めることができました。
ハウスメーカーには解体から完成に至るまで、事細かく連絡をいただき、安心してお任せできました。

■ 空き地コモンズ整備支援の事例（当面利用のない土地を地域住民のための共用スペースとして活用する際の整備費等を助成）

空き地コモンズ整備支援を活用した防災広場が、市と地域の方々の協力の下、寝屋川市池田・大利地区で３月に完成し、供用開始されています。

当センターから整備費の助成を行い、自治会の管理費についても３年を限度に助成を行います。

【整備前】

【整備後】

カラー舗装、プランター、看板
スツール、防災倉庫を設置

池田旭町自治会会長のご感想

センターの空き地コモンズ整備支援の活用により、公園などがなかった密集市街地で、防災広場を確保でき、まちなかの防災性の向上にも役立ちました。災害時に必要な備品も備えていただき心強いです。
近隣住民から心配する声があがるような危険な状態の老朽空き家が、センターと寝屋川市の連携のもと除却され、自治会との協議の上、防災広場になったことは地域としても喜んでいます。
また、自治会で維持管理する防災広場の管理費にも支援していただけるので助かっています。
今後の課題としては、いざ災害が起こった時に地域住民が防災倉庫の事を思い出して行動できるかなどがありますが、地域の防災訓練などを通して意識づけできればと考えています。

■ 感震ブレーカー設置支援の事例（密集市街地内の自治会等に対して感震ブレーカーの購入費・設置費を助成）

守口市大日・八雲東町地区内の新南･連中･連西自主防災会において、当センターが感震ブレーカー購入費・設置費の助成を行い、３町会の皆様が感震ブレーカーを設置されました。

※ 同じおもり玉式の感震ブレーカー438個の大量購入により、販売代理店の協力が得られ、当センターの助成限度額２千円/個の範囲で購入が可能になり、自己負担なしでの設置となりました。

自主防災会団長のご感想

最近地震の発生が多くなっている中、地震時の通電火災を防げる感震ブレーカー設置の支援がセンターにあることを知り、地区役員を集めて、阪神・淡路大震災のような大災害にならないように、感震ブレーカーの全戸設置を目標に取り組むことを決定しました。
感震ブレーカーの設置作業が困難な高齢の介護者や単身者の家庭には、役員の皆様の手で取り付け作業を行いました。
感震ブレーカー設置により、当地区の皆様方にはこれで安心して生活してもらえると大変喜んでおります。これを機に、更なる防災活動に取り組んでいきます。

おもり玉式感震ブレーカーの設置例

お問い合わせ先：まちづくり支援室　TEL:06-6262-7713

京阪電鉄古川橋駅北側が新しいまちに生まれ変わります！
《門真市の官民連携のまちづくり》

門真市では、京阪古川橋駅北側にある廃校になった中学校跡地とその周辺において、密集市街地の解消を目的として基盤整備を行い、生涯学習施設複合施設と交流広場を整備するとともに、民間事業者の技術や経営ノウハウを活用して高層共同住宅・商業・サービスゾーンを整備する官民連携のまちづくりが進められています。

京阪電鉄古川橋駅北側
（幸福町・垣内町）イメージ図

1 門真市のめざすまちづくりの概要

○ 市の顔となる中心拠点として、市立生涯学習複合施設と交流広場をまちの核に位置づけ 、多様な学びを通じた人と人との出会いや新たな賑わいが生まれる場を創出

・令和2年12月に生涯学習複合施設の管理運営予定者として、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)を決定。現在、基本設計事業者の選定手続きが進められています。

○ 生涯学習複合施設に隣接する市有地(まちづくり用地)において、市の玄関口としてふさわしい住宅・商業・業務機能等の複合的な都市機能の集積と賑わいのあるまちを整備

・令和3年5月、市有地購入予定者に住友不動産(株)を代表企業とする企業グループが優先交渉権者に選定されました。

施設配置イメージ図

賑わいの輪
のイメージ

2 官民連携のまちづくりの具体化に向けて

古川橋駅周辺では、地元組織が中心となりながら、より多くの関係者や新たな担い手を巻き込み、官民連携で取り組むため、民間と行政が参画するプラットフォームを構築し、令和3年度末にまちの将来イメージを共有する未来ビジョンの策定が予定されています。

生涯学習複合施設のイメージ

整備イメージ

ドイツ型樹木葬墓地 使用者募集

令和３年１０月３日から木だち・木もれび 新エリア募集開始

（木を墓標とするタイプ：占用型）

木だち

好きな樹木を選び、その根元の周りの区域を1家族でお使いいただくご契約になります。

金額　85 ～ 120万円　　募集樹木　27本

（木を墓標とするタイプ：共用型）

木もれび

好きな樹木を選び、その根元の周りに個人で埋蔵していただくご契約になります。

1本の樹木には複数の埋蔵場所があり、夫婦や家族で隣同士の場所を指定して契約することもできます。

金額　25万円　　募集数　20体（樹木数 2本）

随時募集中

（森全体がひとつのお墓になるタイプ：集合型）

天の川

森の中の集合墓で、エリア内の区画に順番に埋蔵します。お一人おひとりが同じ場所に眠る様子を、星々が美しい夜空の様子になぞらえて天の川と名付けました。

金額　16万円

（木を墓標とするタイプ：共用型）

木もれび

金額　25･30万円

お問い合わせ先：霊園管理課
TEL:06-6871-0577

発行　**公益財団法人　大阪府都市整備推進センター**

〒541-0053　大阪市中央区本町1丁目8番12号　オーク堺筋本町ビル5階

TEL：06-6262-7713　FAX：06-6262-7722

e-mail：omsk@toshiseibi.org　　URL：https://www.toshiseibi.org/